

Contents

「私が見た図書館」 滝口 翔子 …… ①
表紙に掲げられた資料の解説 …… ②
学生時代と図書館50
「学ぶ姿勢:知識と知恵」 川口 榮一 …… ③
「世界をみつめて アイルランド探訪4
-コナート-」 澤田 俊明 …… ④
オフィス・インフォメーション …… ⑤
本学図書館のスペシャル・コレクションより(1)
ニッポナリアと対外交渉史料の魅力
「『ペリー日本遠征記』にみるシーボルト」
奥 正敬 …… ⑥
寄贈図書案内 …… ⑦
ライブラリー・スケッチ「地下書庫閲覧室」
山内 美季 …… ⑧
本学図書館のスペシャルコレクション(20) …… ⑧
「ドイツ文学わき道散歩(11)」
小林 ゆかり …… ⑨
インターミッション(15)
「インターネット安全活用術」 宮杉 浩 …… ⑨
フォーラム 学生と図書館
「私の見た図書館」に参加して …… ⑩
フォーラム実行委員会報告 栄 咲子 …… ⑫
図書館に関する素朴な疑問コーナー …… ⑬

スペイン語圏を知る本(その33)
「ラファエル・ラベサ著『スペイン語の歴史』」
評者 坂東 省次 …… ⑭
中国のほんの話(27)
「インターネット文学の彗星 安妮寶貝と木子美」
蔭山 達弥 …… ⑮
「図書館のこんなこと知らなかった⑥」
永井 千裕 …… ⑯
ご存知ですか?
「国立国会図書館NDL-OPAC」 …… ⑯
12月・1月のピックアップコーナー
「人権」 小笠原 祥子 …… ⑰
おこしやす、図書館へ
「それでも図書館には本が無い?~あるのに無い??」
藤井 達也 …… ⑰
「留学のおもいで」 下岡 智美 …… ⑱
書店関係者をお願いするページ
「品切と在庫」 平尾 繁忠 …… ⑲
新着図書紹介
「現代社会をみつめて4」 石美 真也 …… ⑳
「日本の歴史2」 稲垣 宏行 …… ㉑
Book Review Corner …… ㉒
ライブラリー・カレンダー2005(1月~3月) …… ㉔

表紙に掲げられた資料の解説

SMITH, Adam
An Inquiry into the Nature and Causes of the
Wealth of Nations
2vols. London, 1776

スミス『国富論』

アダム・スミス(1723-1790)は、イギリスの経済学者。エジンバラ近郊に生まれ、グラスゴー大学で学んだ。23歳の時に帰郷したが、2年後エジンバラの哲学会による公開講座の講師を経て、27歳でグラスゴー大学の論理学教授に就任した。その間に彼は、経済的自由主義の主張を認識し、1764年からのパリやジュネーブなどへの旅行後、ロンドンに滞在して『諸国民の富』(『国富論』)の執筆にかり、約9年間で完成した。この大著の完成は、それまで道徳哲学の一分野において取扱われてきた経済問題を、経済学という一つの独立した科学の領域に発展させた。ちなみに本書はその初版本で1776年ロンドンで出版されたものである。

彼の理論は、各国の重商主義政策による険悪な国際環境の中で、重商主義的発想の矛盾解決のために生まれたものであった。国家は、各人の利己的経済活動を自由に放任し、夜警的任務だけを果せば良いという政策論に到るその主張は、資本主義的経済組織を最高のものとする根拠として、重要な役割を果たして来たのである。

『国富論』における論理は、分配の分野におけるマルサスの業績と表裏一体をなしつつ、リカードによる資本主義経済学の確立へと導かれ、英国古典派経済学大成の重要な役割を果たしたのである。

原寸 28.9×22.4cm

『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋し、加筆

